

<きっかけ> 今月の訪問リハ取り組み紹介

骨折後のリハビリも順調に進み、残る課題は“正座が出来るように！”
90歳目前だけど、あきらめません。家事に加えて、庭仕事や旅行も行きたい！
正座が獲得出来ればリハビリはゴールレベルであり、あとは日常生活内でご本人が主体となって動いて行く事が大事に。リハビリ卒業の方向性となりました。

ご本人の希望「正座で洗濯物をたためる様になりたい。」
「親戚の家を訪ねた際、畳に正座で座れるようになりたい。」

担当ケアマネさんへご相談しながら…

【出来るようになった事を一緒に確認】

【卒業後の生活をより具体的にイメージ】

一人でも出来る事、ご家族に付き添ってもらい必要のある事等、整理しました。

【「さようなら」ではありません！】

卒業後にまた何か困った時は、いつでも声をかけて頂きたいと説明。



約1年間のリハビリを卒業されました

リハビリを卒業されて現在は…

- ・通所系サービスなどご利用とならず、自宅での家事、ご家族との外出で十分な運動量が確保出来ています。
 - ・さらに活動が広がり、ご家族見守りの元で庭の手入れや畑仕事が日常で行えるように。
- 泊まりに来た親戚をおもてなししたりと、
本来の「あたりまえの生活」へ戻ったそうです。

※卒業1ヶ月後に電話にて確認。

リハビリ意欲がとても高く、ご本人が積極的に動いて下さったので、目標達成に至ったと思います。リハビリを卒業されてからも家庭の役割を担い、ひ孫さんや親戚とも会うことが出来ている様です。とても嬉しく思います。これからも元気にご本人らしく過ごして頂きたいと思います。



担当リハスタッフ